

Q 今後、ほかからバスを借りることとなると、当然その負担が保護者に生じ、

今まで以上に学校間また地域間の格差が広がってくると思うが、教育部ではどのように考えているのか。

A 教育部長 確かに市有バスが完全に廃止され、すべて公費という形はなかなかきつくなってくることも考えられます。ただ、来年度のことだけを申し上げれば、今の考え方で十分対応できると思

います。将来的には今後の検討課題とさせていただきますと思います。

Q 今後保護者への負担の格差が生じることを懸念しております。8割を超える利用率がある教育部が管理していれば、ある程度格差の是正も図れると思います。市有バスのあり方を、もう一度再考していただいて、教育部で管理運営すれば、格差の是正も図れると思うがどうか。

A 教育部長 以前ですと、たしか教育委員会の管理のバスという形で管理されたところが多かったと思います。教育委員会の学校専用のバスとお考えいただけるのだ

たら、教育委員会で管理するものと考えます。

個人質問



小川 一馬 議員

●国保成東病院について

Q 国保成東病院の現在の経営状況と平成21年度の収支見通しについて。

A 保健福祉部長 前年度末は資金不足のため、県から振興資金3億円を借りて、平成21年度の経営改善については、県医療整備課の助言をいただき、運営に努めているところですが、入院患者は1日当たり平均181人、年間6万6130人、外来については1日当たり506人、年間12万2552人を見込んでいます。

前年対比10月末で比較しますと、入院については7.3%増、数にして2670人。外来については4.3%増、3007人の増加となっております。収支見通しについては、病院全体で2億1850万3千

円の損失が見込まれます。

Q 施設の改修が必要とされる中棟の耐震改修の見通しについて、県・国の予算はどうなっているか。

A 保健福祉部長 県のほうの回答があり次第、補助の対象ということであれば、今年度から準備を進めてまいりたいと思います。

Q 来年度4月以降も近隣から入院、通院の患者がくると思います。治療費の部分で山武市民と料金の違いはあるのか。

A 副市長 4月以降の患者のことかと思えますけれども、今後評価委員会にも諮りつつ決めていかなければならないことですが、基本的に今の患者の継続性を考えた場合、なるべく条件は変わらないように考えていきたいとは思っております。

Q 独法化に向けての進捗状況についてと、病院評価委員会の役割と期待について。

A 副市長 役割としては、独法化の業務、実績について評価を行うとともに、法人の中期目標、中期計画、財務諸表等について、市長に対

し意見の提示を行うなど、評価制度の根幹となる役割を果たすこととしております。経営の内容等を十分にチェックしてもらい、また、医療の面からも指摘をいただくと

ことを期待しております。

A 保健福祉部長 11月25日に第1回評価委員会を開催し、4月1日の設立に向けて、病院と行政側でやるべきものをチェックしまして、目標設定を行って、確実に間に合うよう準備事業を進めております。

Q 独法化に向けて質の高い医療サービスの提供を求められてくると思います。医療スタッフ、病院職員の確保はとれているか。

A 副市長 9月から機会があるたびに病院のほうで、病院の職員に対して何度も説明会を繰り返しております。正確に何人がいるところまでは把握しておりません。

Q 夜間救急の再開についてはどうか。

A 市長 以前のように夜間救急を回復するところまで、医師数がまだまだ不足ですので、情勢に合わせて充実をしてまいります。

●羽田空港の国際化と成田空港について

Q 前原大臣の羽田、国際ハブ空港発言に関する成田空港の将来について。

A 市長 11月30日の会議では、23万5000回というところで考えたらどうかという意見がありました。具体的に30万回ということについてはありませんでした。

千葉県として一体的な戦略、未来に向かって、今、練り直さなければならぬと思っております。

●重点課題プロジェクトについて

Q 4つの重点課題プロジェクトの進捗状況について。

A 総務部長 日向の森土地利用プロジェクトにつきましては、45万平方メートルという広大な土地があります。山林の一部を木質バイオマス事業の活動エリアとして、今、利用しており、自然との調和に配慮しながら、有効な土地利用を図るといった観点で内検討を進めてまいりました。

これから、公募型プロポーザル方式で調査委託をする段

もう一点、松尾横芝インタ